

令和5年度 仙台市立高森中学校

第2学年

学習シラバス



2年__組__番 氏名_____

この冊子の使い方

この冊子は、令和5年度の高森中学校での学習計画や評価の方法などを教科ごとに掲載したものです。これを参考にしておおよその1年間の見通しを立て、計画的に学習に取り組みましょう。

※ただし、あくまでも予定なので、実際の進み方とずれることもあります。なるべく余裕を持った見通しを立てましょう。

◇ 1, 2年生は……

1, 2年生は学習計画をもとに、月ごとの学習計画を立ててみましょう。さらに行事予定を見ながら、定期考査に向けての準備もしっかりやっておきましょう。

学習は毎日の積み重ねが大切です。1, 2年のうちに毎日計画的に机に向かう習慣をしっかり身に付けておきましょう。

◆ 3年生は……

3年生は、3年生で習う学習と同時に1, 2年の復習も必要になってきます。バランスを考えながら、受験に備えてしっかりとした計画を立てましょう。

国語科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
国語2（光村図書）	国語の学習2（明治図書） 積み上げ国語2（明治図書）

1. 目標

- ・読解や表現活動を通して確かな言語能力を身に付ける。
- ・表現する楽しさを味わわせ、自分の思いを適切な言葉で表現することができる。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい	
1 学 期	4	見えないだけ アイズプラネット	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を読み語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・登場人物の考え方や生き方を捉え、考えたことを文章にまとめる。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 	
		枕草子 〔書く〕自分流「枕草子」を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。 ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にすることができる。 	
		5	〔聞く〕 問いを立てながら聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
	6	情報処理のレッスン 思考の視覚化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 	
		多様な方法で情報を集めよう 「職業ガイドを作る」	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 	
		漢字1 熟語の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成の種類について理解を深め、文や文章の中で使うことができる。 	
		クマゼミ増加の原因を探る	<ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 	
	7	思考のレッスン1 具体と抽象	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 	
		魅力的な提案をしよう 「資料を示してプレゼンテーションをする」	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。 ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 ・資料やICT機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 	
		8	文法への扉1	<ul style="list-style-type: none"> ・自立語について分類の観点や書く品詞の性質などを理解することができる。
		メディアを比べよう メディアの特性を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 ・目的や意図に応じて、多様な方法で集めた材料を整理することができる。 	
	9	短歌に親しむ 短歌を味わう 〔書く〕短歌を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌を読んで語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。 ・表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。 	
		言葉の力	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 	
		言葉1 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 	
		読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・本や文章などにはさまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 	
	10	盆土産	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の状況を踏まえて登場人物の言動を考え、人柄や心情を読み取ることができる。 ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 	
		字のない葉書	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の効果に着目して随筆を読み、日常の読書に生かすことができる。 	
		聞き上手になろう	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。 	

		表現を工夫して書こう 「手紙や電子メールを書く」 〔推敲〕表現の効果を考える	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を調えることができる。
		言葉2 敬語	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。
2 学 期	10	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	・同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。
		モアイは語る―地球の未来 思考のレッスン2 「根拠の吟味」	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
		根拠の適切さを考えて書こう 「意見文を書く」 〔討論〕異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう	・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。
	11	月夜の浜辺	・詩を朗読し、響きやリズムを味わい、情景や心情を読み取ることができる。 ・詩の構成や表現の効果について考えることができる。
		源氏と平家 平家物語 扇の的―「平家物語」 から	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・現代語や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。 ・登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。
		仁和寺にある法師 ―「徒然草」から 〔書く〕人物の特徴を捉えて論 じよう	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。
	12	漢詩の風景	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。 ・観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果などについて考えることができる。
		君は「最後の晩餐」を知っ ているか	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果などについて考えることができる。
		文法への扉2 研究の現場ようこそ	・単語の形の変化について考え、活用形と活用の種類を理解することができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
	2	走れメロス 〔書く〕作品の魅力をまとめ、 語り合おう	・登場人物の人物像や表現の効果、作品の魅力などについて考え、内容を解釈することができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
		文法への扉3 構成や展開を工夫して書こう 『ある日の自分』の物語を書 く	・助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。 ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出すことができる。
	3	言葉3 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解し、実際のコミュニケーションに生かすことができる。
		漢字3 送り仮名	・送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解することができる。
		国語の学びを振り返ろう	・1年間の学習を振り返り、国語を学ぶ意義を見出すことができる。 ・伝えたいことを工夫して壁新聞にまとめることができる。
		木	・詩から読み取った作者のものの見方について、自分のこれまでの知識や経験と結び付けて考えることができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、小テスト、ノート及び提出物の点検 等
思考・判断・表現	定期テスト、小テスト、スピーチ、意見文、作文 等
主体的に学習に取り組む態度	観察、ノート・ワークの取り組み、自己評価カード 等

社会科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
地理：中学生の地理【帝国書院】 地図帳【帝国書院】 歴史：中学生の歴史【帝国書院】	地理：よくわかる社会の学習 地理2【明治図書】 グラフィックワイド地理Ⅰ・Ⅱ【東京法令出版】 歴史：よくわかる社会の学習 歴史2・3【明治図書】 ビジュアル歴史【東京法令出版】

1 目標

- ・日本の地理的事象に対する関心を高め、我が国の国土の地域的特色を考察し、日本の国土認識や日本の諸地域に関する理解を深められるようにする。
- ・近世から近代前半までの歴史的事象に対する関心を高め、近世から近代前半までの歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に理解できるようにする。

2 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学期	4 5 6	【地理】 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	・身近な地域における諸事象を取り上げ、地域の課題を見出して追究して、地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けることができるようにする。 ・世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を、様々な面から大観できるようにする。
	7 8 9	【歴史】 武家政権の展開と世界の動き 3 武士による全国支配の完成 4 天下泰平の世の中 5 社会の変化と幕府の対策	・江戸幕府の政治の特色を考察し、幕府と藩による支配が確立したことを理解できるようにする。 ・町人文化が都市を中心に形成されたことや各地方の生活文化が形成されたことを理解できるようにする。 ・江戸幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解できるようにする。
	10	【地理】 第3章日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方	・九州地方の特色について自然環境を視点にして考察できるようにする。 ・中国・四国地方の特色について他地域との結びつきを視点にして考察できるようにする。
2	10	【地理】 第3章日本の諸地域 3 近畿地方 4 中部地方	・近畿地方の特色について環境保全を視点にして考察できるようにする。 ・中部地方について産業を視点にして考察できるようにする。
	11	【歴史】 近代国家の歩みと国際社会 1 欧米諸国における「近代化」 2 開国と幕府の終わり	・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できるようにする。 ・開国・明治維新によって、近代国家の基礎が整えられたことを理解できるようにする。
	12	【地理】 第3章日本の諸地域 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方	・関東地方の特色について、人口や都市を視点にして考察できるようにする。 ・東北地方の特色について、生活・文化を視点にして考察できるようにする。 ・北海道地方の特色について、歴史的背景を視点にして考察できるようにする。
	1 2	【歴史】 近代国家の歩みと国際社会 3 明治政府による「近代化」の始まり 4 近代国家への歩み 5 帝国主義と日本	・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定を通し、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解できるようにする。 ・日清・日露戦争、条約改正などを通して、我が国の国際的地位が向上してきたことを理解できるようにする。
	3	6 アジアの強国の光と影	・我が国の産業革命、国民生活の変化を通して、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解できるようにする。

3 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	・定期考査 ・単元テスト ・ノート、レポートの記述内容 ・授業での発言、発表内容
思考・判断・表現	・定期考査 ・単元テスト ・授業での発言、発表内容 ・自己評価等への記述内容 ・ノート、レポートの記述内容
主体的に学習に取り組む態度	・授業での発言、発表内容 ・ノート、レポートの記述内容 ・ワーク等の取組状況とその内容 ・自己評価等への記述内容

数学科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい数学2（東京書籍）	クリアノート2（浜島書店） 新観点別評価 単元1回 数学2（明治図書出版）

1. 目標

- ・数量や図形などについての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を身に付けよう。
- ・数学的な活動の楽しさ、数学の良さを実感して、粘り強く考え、数学を生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション 1章 式の計算 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・具体的な問題を、文字式とその計算を利用して解決することを通して、文字のよさを理解することができる。 ・単項式と多項式、次数の意味を理解し、多項式についてのいろいろな計算ができる。 ・数の性質を見だし、それが成り立つわけを文字を使って説明することができる。 ・等式を変形して、ある文字について解くことができる。
	5	2節 文字式の利用 章の問題	
	6	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決することを通して、連立方程式の必要性を理解することができる。 ・2元1次方程式とその解の意味、連立方程式とその解の意味を理解する ・加減法、代入法を理解し、それらを用いて連立方程式を解くことができる。 ・具体的な問題を、連立方程式を利用して解決することができる。
	7	2節 連立方程式の利用 章の問題	
	8	3章 1次関数 1節 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の意味を理解し、その関係を $y=ax+b$ の式に表すことができる。 ・1次関数のグラフの持つ性質や、傾き、切片について理解することができる。 ・2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ・具体的な事象のなかの2つの数量の間の関係を1次関数とみなして、問題を解決することができる。 ・1次関数のグラフを利用して、身のまわりの問題を解決することができる。
9	2節 1次関数の性質と調べ方 3節 2元1次方程式と1次関数 4節 1次関数の利用 章の問題		
10	4章 平行と合同 1節 説明のしくみ		
2 学 期	11	2節 平行線と角 3節 合同な図形 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・n角形の内角・外角の和の求め方を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ・対頂角が等しいことや平行線と錯角の関係を、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ・三角形の内角の和が 180° であることを、論理的に筋道を立てて説明することができる。 ・角の大きさの求め方を、根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 ・図形の合同の意味と合同な図形の性質を理解する。 ・根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を説明することができる。
	1	5章 三角形と四角形 1節 三角形	
	2	2節 平行四辺形 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形の性質の証明について考察することができる。 ・二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明することができる。 ・平行四辺形の性質を証明することができる。 ・平行四辺形になるための条件を証明することができる。 ・長方形、ひし形、正方形の定義をもとにして、それらが平行四辺形であることを説明することができる。 ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを、割合（相対度数）をもとにして考え、説明することができる。 ・確率の意味を理解し、多数回の実験の結果をもとにして、確率を求めることができる。 ・同様に確からしいことの意味を知り、場合の数をもとにして確率を求めることができる。 ・身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。 ・ヒストグラムを用いて複数のデータの分布の傾向を比較することを通して、それらを比較しやすくする方法の必要性を理解する。 ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性を理解することができる。また、箱ひげ図を用いて、複数のデータの分布の傾向を比較して判断することができる。
	3	6章 確率 1節 確率	
	3	2節 確率による説明 章の問題	
3	7章 データの比較 1節 四分位範囲と箱ひげ図 章の問題		

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、論述やレポートの作成、発表・発言、グループでの話し合い、観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノート、自己評価カード「学びの足跡」など）の状況等

理科 第2学年 学習の手引き (シラバス)

使用教科書	使用副教材
新しい科学2 (東京書籍)	ワーク : よくわかる理科の学習2 (明治図書)

1. 目標

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学期	4	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち	<p>・身のまわりの物質や現象は、物質が変化したり、その変化を利用したりしたものが数多く存在する。分解や化合などの化学変化の観察、実験を通して、物質がどのような変化をするのか学ぶ。また、これらの事象を原子、分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を身に付ける。</p> <p>・ヒトは、食事をして、生きるために必要な養分を得ている。動物が口から食べたものは、からだの中で変化する。また、植物は物を食べないが、自ら養分をつくり出すことができる。生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解し、動物と植物、それぞれのからだのつくりを知り、どのようなはたらきがあるかを理解する。</p>
	5	第2章 物質どうしの化学変化	
6	第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用		
7, 8	単元2 生物のからだのつくりと はたらき		
9	第1章 生物と細胞 第2章 植物のからだのつくりと はたらき		
2 学期	10	第3章 動物のからだのつくりと はたらき 第4章 刺激と反応	<p>・地球は、空気の層である大気におおわれている。雲ができた雨や雪が降ったりするのは、地表からはるか上空まで続く大気のうちのごく下層の部分である。その限られた部分で起こる気象現象が、私たちの生活に大きな影響を与えている。気象現象のしくみについて調べ、気象要素と天気の変化の関係を見いだすとともに、それが起こるしくみや規則性についての認識を深め、天気の変化について理解する。</p>
	11	単元3 天気と変化 第1章 気象の観測	
	12	第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気	
	1	単元4 電気の世界	<p>・電気を利用しない日はないというほど、私たちは電気を利用している。電気器具は、複雑なつくりになっているが、基本的なつくりの組み合わせでつくりだされている。また、電気器具には磁石のはたらきを利用したものも多い。この単元では、電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係及び電流のはたらきについて理解するとともに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての見方や考え方を身に付ける。</p>
	2	第1章 静電気と電流	
	3	第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	定期テスト、実験レポート(グラフや作図など)、単元テスト など
思考・判断・表現	定期テスト、実験レポート、単元テスト、授業中の発表 など
主体的に学習に取り組む態度	授業中の発言・発表、課題への取り組み(実験レポート・ノート・ワーク・振り返りシート) など

第2学年 英語

使用教科書	使用副教材
<i>NEW HORIZON English Course 2</i> (東京書籍)	<ul style="list-style-type: none"> ・エイゴラボ②(正進社) ・積み上げ (明治図書)

1. 目標

- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ・英語を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- ・英語を話したり書いたりして、自分の考えを伝えることができる。
- ・言語や文化に対する理解を深め、国際社会に興味関心を持つことができる。

2. 学習計画

月	題 材	主な言語材料	学習のねらい
4	一学年の復習 Unit 0 My Spring Vacation	be 動詞の過去形, 過去進行形 there is (are)の文	<ul style="list-style-type: none"> ○一学年の既習事項を使って、表現することができる。 ○be 動詞の過去・過去進行形の形・意味・用法を理解できる。 ○there is(are)の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
5	Unit 1 A Trip to Singapore	未来形 show, give 等の用法 call の用法	<ul style="list-style-type: none"> ○未来を表す表現 be going to, will の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○show など+ (人) + (もの) の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○call+A+B の形・意味・用法を理解し、表現できる。
6	Unit 2 Food Travels around the world	接続詞の用法	<ul style="list-style-type: none"> ○接続詞 (if・when・because) の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○that 節の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。 ○身近な話題について、自分の考えを伝えることができる。
7	Unit 3 My Future Job	不定詞 (副詞的用法) 不定詞 (形容詞的用法) 不定詞 (名詞的用法)	<ul style="list-style-type: none"> ○不定詞 (副詞的用法・形容詞的用法・名詞的用法) の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○It ~to~の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○自分の体験したこと等について尋ねたりすることができる。
8	Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	既習事項の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書き表すことができる。
8	Let's Read 1 History of Clocks	既習事項の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ○説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。
9	Unit 4 Homestay in the United States	have to, must の用法 動名詞の用法	<ul style="list-style-type: none"> ○have to, や助動詞 must を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。 ○習慣やマナーについて、尋ねたり伝えたりすることができる。

10	Unit 5 Universal Design	疑問詞+to 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be 動詞+形容詞+that	<ul style="list-style-type: none"> ○疑問詞+to 不定詞の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○主語+動詞+(人)+疑問詞+to 不定詞の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○主語+be 動詞+形容詞+that の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○身近なものについて使い方などを説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。
11	Unit 6 Research Your Topic	比較表現(-er, the -est) 比較表現(more, the most) 比較表現(better, the best) 比較表現(as...as ~)	<ul style="list-style-type: none"> ○比較表現 (-er, the -est, more, the most) の形・意味・用法を理解し、適切な表現や簡単な対話ができる。 ○better, the best を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○as...as ~を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
12	Stage Activity 2 Research and Presentation	既習事項の復習	○クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。
	Let's Read 2 A Glass of Milk	既習事項の復習	○物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちを込めて音読したりすることができる。
1	Unit 7 World Heritage Sites	受け身	<ul style="list-style-type: none"> ○受け身の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ○助動詞+be 動詞+過去分詞の用法を理解し、表現できる。 ○各地の世界遺産を紹介することができる。
2	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	既習事項の復習	○自分の町のおすすめの場所について書き、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。
3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	既習事項の総復習	○人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価	評価方法
知識・技能	定期テスト、単元テスト、小テスト、パフォーマンステスト、発表・発言、観察等
思考・判断・表現	定期テスト、単元テスト、発表・発言、ペアワーク、グループワーク、パフォーマンステスト、観察等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手・発言、課題への取組、観察、提出物（ワーク、宿題、ノートなど）の状況、振り返りシート等

音楽科 第2学年 学習の手引き (シラバス)

使用教科書	使用副教材
中学生の音楽2・3上 (教育芸術社)	中学生の音楽ワークブック2・3上 (正進社)

1. 目標

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けよう。
- ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴こう。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション	・1年間の予定を知る。授業時の約束を確認する。
	5	鑑賞	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。
		「フーガ短調」	・フーガの特徴を理解し、その主旋律をとらえることができる。
	6	合唱コンクール選曲	・音程を正しくとらえて歌うことができる。
	7	合唱練習 校内合唱コンクール	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
	8	鑑賞	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。
	9	「アイダ」	・オペラに親しみ、その魅力を味わうことができる。
		「交響曲第5番」	・作曲者の生涯や作曲された背景について理解することができる。 ・オーケストラの楽器の特徴を理解し、独特の響きを感じ取ることができる。
	2 学 期	10	心の歌
11		「夏の思い出」	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解することができる。
		「荒城の月」	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。
12		Let's Create!	・音の重なり方や反復、変化、対照などの特徴について理解することができる。 ・まとまりのある創作表現を創意工夫して取り組むことができる。
1		文楽「野崎村の段」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解することができる。
		歌舞伎「勧進帳」	・声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解することができる。
2		器楽 (AR)	・アルトリコーダーの扱い方や指遣いなどについて理解することができる。
		カノン、オーラリー、 アニーローリー、虹の 彼方に 他	・タンギングの正しいやり方を習得する。 ・適切な息の量などを考えて吹くことができる。 ・いろいろな曲を吹くことができる。
		3	歌唱
和楽器演奏 「さくらさくら」			・箏の基本的な奏法を理解することができる。 ・副旋律を練習し、アンサンブルを楽しむことができる。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	実技テスト、ワークシート、発表、発言、観察等
思考・判断・表現	実技テスト、ワークシート、グループ(パート)での話し合いや意見交換、取組等
主体的に学習に取り組む態度	授業中の挙手、発言、取組、振り返りカード、提出物等

美術科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
美術2・3上（日本文教出版）	美術資料 宮城の美（秀学社）

1. 目標

- ・造形的な視点を持ち，自分の表現方法を追求し，創造的に表現することができるようにする。
- ・感性や想像力を働かせて，独創的で豊かな発想を練ったり，美術に対する考える方を深めたりする。
- ・創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を深め，心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	心のイメージを	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩，そこから生じるイメージの変化をとらえ，絵具などの特徴を生かして表す。 ・イメージの変化をもとに構図の効果を考え，構想を練ったり鑑賞したりする。 ・感情やイメージの変化を形や色彩で表すことに意欲的に取り組む。
	5	形に	
	6	[絵画]	
	7	[鑑賞]	
8	9	岡本太郎 芸術はみんなの もの [鑑賞]	<ul style="list-style-type: none"> ・アートが発するメッセージを感じ取ることができる。 ・アートの持つ意味を考え，自分の言葉で作品の印象と社会的な意味を表現することができる。
2 学 期	10	動き出しそうな 動物たち [彫刻] [鑑賞]	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形の特徴，表情や仕草に着目し，生き物の印象をとらえ材料や用具を生かして表す。 ・生命観や躍動感，動物の特徴やイメージをもとに，材料の効果を考えた構想を練ったり，鑑賞したりする。 ・動物の特徴やイメージをとらえ表現することに意欲的に取り組むことができる。
	11		
	12	浮世絵はすごい [絵画] [鑑賞]	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵の作風や作品の印象などをとらえることができる。 ・日本の美術文化の継承を創造について考え，鑑賞することができる。
	1		
	2 3	水と筆を操る [絵画] [鑑賞]	<ul style="list-style-type: none"> ・墨の濃淡や筆の運びによる線の勢いに着目し，墨の効果を生かして表現する。 ・墨に親しみながら，濃淡や線などの効果を試し，構想を練り，鑑賞したりする。 ・墨の美しさ，効果を生かして表現することに意欲を持って取り組む。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業の取組，ワークシート，クロッキーブック，作品
思考・判断・表現	授業の取組，ワークシート，クロッキーブック，作品
主体的に学習に取り組む態度	授業の取組，ワークシート，クロッキーブック，作品

保健体育科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
新しい保健体育（東京書籍）	学習ノート（東京書籍） ステップアップ中学体育（大修館書店）

1. 目標

- ・運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けよう。
- ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けた思考・判断をするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養おう。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを認めようとする意欲を育てよう。
- ・生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養おう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション ・ 集団行動	・ 保健体育の学習の心構え、授業での約束事などを確認する。 ・ 集団で規律ある行動を効率よく取れるようにすることで、学校生活や緊急時に生かせるようにする。
	5	・ 体づくり運動(体ほぐし) * 体力テスト	・ 体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	6	・ 陸上競技 ・ 水泳	・ 走り高跳びを通して、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・ クロールや平泳ぎの泳法を身に付け、記録の向上や競争の楽しさを味わう。
	7		
	8 9	・ 保健編第3章 ・ 器械運動	・ 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 ・ 跳び箱運動を通して、技ができる楽しさや喜びを味わう。
2 学 期	10	・ 球技①ネット型 ・ 武道	・ バレーボールを通して、空いた場所をめぐる攻防を行い、勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。 ・ 剣道を通して、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方を学び、基本動作を身に付ける。
	11	・ 体育編2章	・ 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。また、自己の課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を身に付ける。
	12	・ 球技②ゴール型	・ バasketボールを通して、ゴール前での攻防を行い、勝敗を競う楽しさや喜びを味わう。
	1	保健編第4章	・ 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
	2 3	ダンス	・ 感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わう

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	授業中の取組、単元の実技テスト、定期考査等
思考・判断・表現	ワークシートの内容、授業中の発言等
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組（ワークシートへの記入、授業態度等）

技術科 第2学年 学習の手引き (シラバス)

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 技術分野 (開隆堂)	技家ノート 技術分野 (開隆堂)

1. 目標

- ・学んだことがらと生活とのかかわりを考え、生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考える力を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術を生活の場で活用する力を身に付けよう。
- ・学んだことがらと生活とのかかわりを理解する力を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4・5	「エネルギー変換に関する技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る。 ・機器の基本的な仕組みを知り, 保守点検と事故防止を知る。 ・エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 ・作品製作をする。
	6	(1) わたしたちの生活とエネルギー変換	
	7	(2) エネルギーの変換と利用	
	8	(3) 動力伝達の機構とその利用	
	9	(4) 機器の安全な利用と点検	
	10	(5) 発電機を使った作品の製作	
2 学 期	10	「生物育成に関する技術」	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 ・生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えること。
	11	(1) わたしたちの生活と生物育成	
	12	(2) 作物の栽培	
	1	(3) 動物の飼育	
	2	(4) 水産生物の栽培	
	3	(5) 生物育成に関する技術とわたしたち	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	製作品, 定期考査
思考・判断・表現	生活に生かそうとする思考, 使用する工具の判断, 製作物の工夫・表現, 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組, 発表, 学習ノートやプリントの提出

家庭科 第2学年 学習の手引き（シラバス）

使用教科書	使用副教材
技術・家庭 家庭分野 (開隆堂)	技家ノート家庭分野 (開隆堂)

1. 目標

- ・学んだことと生活とのかかわりを考え、生活に生かそうとする態度を身に付けよう。
- ・学んだ知識と技術の活用場面や活用方法を考え、より良い生活を工夫する力を身に付けよう。
- ・生活の自立に必要な基礎的・基本的な技術を身に付けよう。
- ・生活に自立に必要な基礎的・基本的な知識を身に付けよう。

2. 学習計画

	月	題材名	学習のねらい
1 学 期	4	B「衣食住の生活」の「食生活」 「健康と食生活」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考える。 ・栄養素の種類とはたらきを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。 ・安全や衛生に留意し、調理の計画を工夫し、調理することができる。 ・食品の調理上の性質について理解する。
	5	①食事の役割②健康によい食習慣	
	6	「中学生に必要な栄養を満たす食事」 ① 中学生の発達と必要な栄養 ② 栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	
	7	一日にとりたい食品と分量 ③ 栄養バランスを目で見て判断 「さまざまな食品とその選択」	
	8	① 生鮮食品の選択と保存 ② 加工食品の選択 ③ 食品の安全と情報	
9	「日常食の調理」 ① 調理の計画 ② おいしさと調理		
2 学 期	10	③ ますます好きになる肉の調理 ④ こんなにおいしい魚の調理	<ul style="list-style-type: none"> ・食に関する生活の課題に目を向け、より良い生活を目指して、自分で考え工夫する。 ・家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。 ・家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫してできること。
	11	⑤ 好きになる野菜の調理 ⑥ りんごの皮むき実技テスト	
	12	「地域の食文化 日本各地の郷土料理」 「献立づくり」 「持続可能な食生活」	
	1	C「消費生活と環境」 ① 家庭生活と消費 ② 購入・支払いと生活情報	
	2	③ 消費者被害と消費者の自立 ④ 持続可能な社会	
	3	B「衣食住の生活」の「住生活」 「住生活」 ① 住まいのはたらきとここちよさ ② 安全な住まいで安心な暮らし ③ 持続可能な住生活	

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価方法
知識・技能	調理実習，調理技術，定期考査
思考・判断・表現	調理実習を工夫する考え，調理計画の作成等，用具の正しい使い方の判断，定期考査
主体的に学習に取り組む態度	授業への取組，発表，学習ノートやプリントの提出